

県立こども病院の移転は中止すべき



南海トラフの巨大地震が発生した場合、ポートアイランドでは震度6の激震になり3分間も揺れると言われていいます。しかも、ポートアイランドの埋め立て地盤

は軟弱なため、阪神淡路大震災で液状化した部分も再び液状化する可能性があります。ポートアイランド2期について神戸市はこれまで「液状化はたいしたことはなかった」と言っていますが、実際には液状化しており対策をとらなければなりません。また、津波が遡上する危険性もあり、ポートアイ2期の病院は孤立する危険性があります。金沢議員は「このような危険な場所に、こども病院を誘致すべきではない」と指摘し、「大型コンピュータを使ってシミュレーションし、こども病院の計画を止めるべき」と求めました。三木部長は「スーパーコンピュータを使ってシミュレーションを行い、予算を計上したい」と答弁しました。



ポートアイランド

■噴砂分布

1期は全面、特に周辺部、2期でもドレーン工事したにもかかわらず中央部で液状化

中学校給食を実現してほしいとの切実な声は大きく広がり、6万筆以上の署名が集まっています。12月に行われた文教こども委員会では、現在行われている「昼食のあり方検討会」の内容について報告されました。教育委員会は、「一番安上がりな方法のデリバリー（業者による弁当）への誘導を強めています。しかし、これでは地産地消も進まず、アレルギー対応もできません。これまで小学校で行われていた対応から後退する危険性があります。自校方式にすれば、地産地消やアレルギー対応も可能です。また、全員で同じ食事を食べることから、食育の取り組みも進みます。

自校方式の 中学校給食の 実現を！

財政面で初期投資は必要ですが、国の補助もあります。「お金がかかる自校方式は論外」ではなく、子どもたちへの投資は未来への投資という姿勢が教育委員会に必要です。

「いじめ・傷害事件」の 真相解明と情報共有を

真相解明と情報共有を

昨年、北区の市立中学3年生男子生徒3人が同級生を暴行する事件が起こりました。背景には「いじめ」があったことを教育委員会も認めています。しかし、このような事態が起こっているにもかかわらず、校長は保護者や生徒・地域の皆さんに何の説明もおこなっていません。地域の皆さんからは、真実を語らない学校に対する不信の声があがっています。日本共産党議員は、「こどもたちに

事実を伝え、こどもたちや保護者、教育関係者、地域が一緒になっていじめをなくすための取り組みを行うべき」と質しました。いじめをなくすためには、いじめを許さないという姿勢を示すために事実を明らかにし、保護者や地域一体となって取り組みをすることが必要です。神戸市の学校からいじめを一扫するために、第三者機関の常設なども求めました。

公契約条例の一日も早い制定を！

公契約条例は、自治体が発注した公共工事や業務委託に対して、下請け企業も含めて働く人の賃金や労働条件をきちんと保障するものです。神戸市が行っている事業が、指定管理者制度や業務委託に変わる中、「官制ワーキングプア」といわれる働く人たちが増えています。公契約条例を制定することは、働く貧困層をなくしていく一歩につながります。

金沢議員は、市民の安定した雇用と暮らしを保障するために、一日も早く公契約条例を制定するよう求めました。行財政局長は「各都市の条例を勉強しながら状況を見ていきたい」と答えました。神戸市の関連事業で働く皆さんの安定した暮らしを保障するためにも、早く条例をつくるよう求めています。



本会議で質問に立つ金沢議員